

Happy Birthday Ingmar Bergman!

7月14日はベルイマンの記念すべき100回目の誕生日!
「ベルイマン生誕100年映画祭」を100倍楽しむための関連イベントを2日連続で開催します

前夜祭 7.13 [FRI]
YouTubeライブにて、町山智浩さんによるスペシャルトークショーの開催が決定! 後の映画監督たちと与えた計り知れない影響から、ベルイマンの破天荒な生涯と人柄まで、ベルイマンの魅力をたっぷり1時間、語り尽くします。
【日時】7月13日(金) 23:00~24:00 (予定)
【視聴方法】YouTubeの(zaziefilms)チャンネルより生配信! 詳細は公式SNSをチェック!  YouTube 

生誕祭 7.14 [SAT]
劇場未公開・未ソフト化の『グッバイ! ベルイマン』を1回限りの特別上映! (2016年トキオノーザンライツフィルムフェスティバルにて上映) 豪華ゲストによるトークショーも開催します!
上映作品『グッバイ! ベルイマン』 2013年/スウェーデン/113分/DCP/原題:Trespassing Bergman/英語:Bergmans video
監督:ヤネ・マクマソン、ヒネク・バラス
出演:アレハンドロ・ロ・イニャリト、クレール・ドゥニ、ミキエル・ハネケ、アン・リー、マーティン・スコセッシ、ロバート・デ・ニロ、ウェス・アンダーソン
ウディ・アレン、フランシス・コッポラ、ラース・フォン・トリアー、チャン・イーモウ、ホリー・ハンター、イザベラ・ロッセリーニ、ハリエット・アンデション 他
ベルイマンが暮らしたフォール島の自宅。「侵入禁止」の立て札が見える敷地内に、世界各国から集まった映画監督たちがカメラとともに入っていく…。思い出を涙ながらに語り、作家性を冷静に分析し、愛憎入り混じり思わず激憤する…。ベルイマンを愛してやまない各国の映画監督・俳優たちが、それぞれ敬愛の念を思い思いに語りはじめる。ベルイマンの生涯とフィルムグラフィの紹介も分かりやすく、入門編としてもぴったり! 映画愛に溢れた珠玉のドキュメンタリー。
【日時】7月14日(土) ※時間・料金などの詳細は、後日HPにて発表します。ゲストによるトークショーも予定。
【会場】YEBISU GARDEN CINEMA (恵比寿ガーデンプレイス内) 

VOLVO STUDIO AOYAMA
ボルボスタジオ 青山
港区北青山3-3-11F
tel.03-6896-1141 www.volvocars.jp/aoayama
ボルボ スタジオ青山では、ボルボ車の購入はもちろん、音楽、アートをはじめとした多彩なイベントも開催しています。併設のカフェ&バーでは、神乃珈琲とコラボレーションしたオリジナルブレンドのコーヒーやシャンパンをお楽しみいただけます。
★本映画祭の半券提示で、スウェーデンの伝統菓子セムラ (500円、税別) を1つサービス!
期間:7/21(土)~8/31(金) 

北欧旅行 ファインツアー
北欧の透明な景色に癒される。幻想的なオーロラに魅了される…。あらゆるジャンルの旅をすべて自社手配! きめ細やかで安心の旅を提供しています。
tel.03-3456-3933 www.nordic.co.jp
★本映画祭の半券提示で2,000円引 (有効期限:2019年3月までのご出発) ※一部対象外ツアーがございます 

SHOPS
その名も「鼻の店」。世界中からインディペンデントでハイグレードなフレグランス専門メゾンがそろそろ香りのセレクトショップ。あなたの鼻と、フレグランスクリエイターの鼻が主役のお店。
新宿区新宿4-1-6 ニュウマン新宿 2F
tel.03-5357-7707
https://noseshop.jp
★本作の半券提示にて、NOSE SHOPで香水サンプルが当たる、ガチャマシーン1回チャレンジいただけます。(有効期限:2018年8月末日迄) 

Restaurant Stockholm
レストランストックホルム
1971年開業。日本でただ一つのスウェーデン料理スモークスボード専門店。王室も絶賛した北欧料理を心ゆくまでご堪能ください。
千代田区永田町2-14-3 東急プラザ赤坂1F
tel.03-3509-1677 www.stockholm.co.jp
★本作の半券提示でスモークスボードディナー(ブッフェ)をご利用の方に人気サイドオーダー「本日のスープ」、土日ランチにはカッパスープを無料サービス! (実施期間:7/21~8/31) 

北欧料理 リラ・ダラナ Lilla Dalarna
— sedan 1979 —
ウッディで温かみのある店内で、本格北欧家庭料理を味わえます。スウェーデンの田舎の小さな軒屋に招かれたようなくつろぎを。
港区六本木6-2-7 ダイカンビル2F 日・祝定休
tel.03-3478-4690 http://dalarna.jp
★本作の半券提示でランチ100円引き、ディナーコース10%引きにてご提供! (実施期間:7/21~8/31) 

こまもの北欧家具の店 Salut
毎日何気なく使うものを、ゆっくり選んだお気に入りの。オーナーが北欧より直接買ってきた家具を丁寧な修復を施して販売しています。
目黒区目黒本町5-5-5 営業時間:木~日/11:00~18:00
tel.03-6451-0775 www.salut-store.com
★本映画祭の半券提示で、実店舗にてお買上の方、先着100名様に北欧土産のポストカードをプレゼント! 

fukuya
20th Century Modern Design
北欧から「可愛い」にこだわった、1950年代から70年代を中心としたビンテージ陶磁器とファブリックを販売しています。
世田谷区深沢2-15-5 開店日時:日曜13:00~18:00
www.fuku-ya.jp
★本映画祭の半券提示で、実店舗にてお買上の方、先着100名様にビンテージのカップ&ソーサー柄のfukuyaオリジナルスポンジワイプをプレゼント! 

YEBISU Marche
毎週日曜日に開催されている「オーガニック&ナチュラル」な都市型市場「恵比寿マルシェ」に北欧雑貨店「fukuya」と「アクアビットジャパン」の店が決定!
日時:7/15(日) 11:00~17:00 fukuya (北欧雑貨)
7/22(日) 11:00~17:00 アクアビットジャパン (北欧雑貨・北欧食品)
場所:恵比寿ガーデンプレイス・シャトー広場 

イングマル・ベルイマン || 1918年7月14日、プロテスタントの聖職者の家庭で、3人兄弟の次男として、スウェーデンの大学都市ウプサラで生まれる。幼少期から人形遊びに夢中になるが、10歳のクリスマスに映写機をプレゼントされたことをきっかけに、映画に魅了される。大学在学中は、演劇活動に熱中し、44年アルフ・シェーベリ監督「もだえ」で脚本を手掛け、46年「危機」で映画監督デビュー。以後、60年以上にわたるキャリアの中で、50本以上の作品を残した。各国の映画祭で無数の賞を受賞。プライベートでも、5回の結婚をするなど話題に事欠かない波乱万丈な生涯だった。2007年7月30日、バルト海の孤島フォール島の自宅で死去、享年89。

上映スケジュール				
	12:40	15:00	17:20	19:40
7月21日(土)	夏の遊び	野いちご	魔術師	仮面/ペルソナ
7月22日(日)	ファニーとアレクサンデル			夏の夜は三たび微笑む
7月23日(月)	処女の泉	鏡の中にある如く	冬の光	沈黙
7月24日(火)	叫びとささやき	秋のソナタ	第七の封印	魔術師
7月25日(水)	第七の封印	夏の夜は三たび微笑む	仮面/ペルソナ	叫びとささやき
7月26日(木)	秋のソナタ	冬の光	処女の泉	鏡の中にある如く
7月27日(金)	冬の光	野いちご	夏の遊び	第七の封印
7月28日(土)	第七の封印	ファニーとアレクサンデル		
7月29日(日)	魔術師	処女の泉	鏡の中にある如く	沈黙
7月30日(月)	仮面/ペルソナ	夏の夜は三たび微笑む	冬の光	野いちご
7月31日(火)	ファニーとアレクサンデル			夏の遊び
8月1日(水)	鏡の中にある如く	沈黙	叫びとささやき	秋のソナタ
8月2日(木)	夏の遊び	魔術師	処女の泉	夏の夜は三たび微笑む
8月3日(金)	沈黙	冬の光	仮面/ペルソナ	叫びとささやき
8月4日(土)	ファニーとアレクサンデル			野いちご
8月5日(日)	叫びとささやき	仮面/ペルソナ	秋のソナタ	夏の遊び
8月6日(月)	冬の光	鏡の中にある如く	沈黙	仮面/ペルソナ
8月7日(火)	秋のソナタ	ファニーとアレクサンデル		
8月8日(水)	野いちご	処女の泉	冬の光	魔術師
8月9日(木)	夏の夜は三たび微笑む	第七の封印	魔術師	処女の泉
8月10日(金)	鏡の中にある如く	叫びとささやき	秋のソナタ	沈黙
8月11日(土・祝)	処女の泉	鏡の中にある如く	叫びとささやき	仮面/ペルソナ
8月12日(日)	秋のソナタ	野いちご	夏の遊び	冬の光
8月13日(月)	ファニーとアレクサンデル			魔術師
8月14日(火)	第七の封印	魔術師	夏の夜は三たび微笑む	夏の遊び
8月15日(水)	野いちご	鏡の中にある如く	沈黙	第七の封印
8月16日(木)	叫びとささやき	沈黙	仮面/ペルソナ	夏の夜は三たび微笑む
8月17日(金)	夏の遊び	ファニーとアレクサンデル		

2018年7月21日(土)より開催! 8月17日(金)まで

★初日プレゼント
「寄り」は沈黙の言葉」というテーマのもと2008年にスウェーデンで設立されたスウェーデン・アカデミー映画祭「ACONIST(アコニスト)」ベルイマンの影響も色濃くうけたという香水サンプルを先着100名様プレゼント!
提供: NOSE SHOP 

配給: ジェリウムズ、マジックアワー 協賛: スウェーデン大使館 協力: シネマカガフィン
HP: www.zaziefilms.com/bergman100/

全国共通特別鑑賞券発売中!
※前売券の販売は、7/20(金)まで

★特別鑑賞券 (税込) 1回券: 1,200円 / 3回券: 3,000円
※『ファニーとアレクサンデル』以外の12作品でご利用いただけます
当日料金 一般: 1,500円 / シニア: 1,100円 / 学生(大・高): 1,300円 / 学生(中・小): 1,000円
プライベートシート: 2,000円

★『ファニーとアレクサンデル』専用特別鑑賞券 (税込) 2,000円
当日料金 2,500円 / プライベートシート: 2,700円 (特別興行につきサービスデーや各種割引は適用外)
※クラブメイス会員割引詳細については劇場HPまで

劇場窓口又はメイジャー・ネット通販にてお求めの方に限り、オリジナルグッズプレゼント! (数量限定)

① 叫びとささやき ポストカード ② ファニーとアレクサンデル ポストカード
③ ベルイマン直筆イラスト&サイン入り オリジナルステッカー

1回券… ① / 3回券… ①+③ / 『ファニーとアレクサンデル』専用券… ②+③

恵比寿ガーデンプレイス内
YEBISU GARDEN CINEMA
0570 (783) 715
www.unitedcinemas.jp/yebisu/

Ingmar Bergman

100th anniversary Film Festival

ベルイマン生誕100年映画祭

デジタル・リマスター版

夏の遊び ◆ 夏の夜は三たび微笑む ◆ 第七の封印 ◆ 野いちご ◆ 魔術師 ◆ 処女の泉 ◆ 鏡の中にある如く ◆ 冬の光 ◆ 沈黙 ◆ 仮面 / ペルソナ ◆ 叫びとささやき ◆ 秋のソナタ ◆ ファニーとアレクサンデル
Sommarlek | Sommarnattens leende | Det sjunde inseglet | Smultronstället | Ansiktet | Jungfrukällan | Såsom i en spegel | Nattvardsgästerna | Tystnaden | Persona | Viskningar och rop | Höstsonaten | Fanny och Alexander



スウェーデンが生んだ“20世紀最大の巨匠”**イングマール・ベルイマン**
全キャリアにおける厳選の傑作13本が、**デジタル・リマスター版**でスクリーンに甦る――

ベルイマン生誕100年映画祭

デジタル・リマスター版

“映像の魔術師”、“北欧映画祭の至宝”…、映画というカテゴリーを超えて、芸術全般において最大限の賛辞をもって世界中の人々から呼称される、20世紀が生んだ、唯一無二の映画作家**イングマール・ベルイマン**。1918年7月14日にスウェーデンで生まれ、2007年7月30日に没した巨匠の生誕100周年にあたる2018年、その偉大なる業績を振り返るレトロスペクティヴが各国で開催されています。折しも、スウェーデンとの国交150周年というアニバーサリーヤーも重なった日本では、60本あまりのフィルモグラフィーの中からベルイマンの魅力が凝縮された代表作13本をセレクト、美しく甦ったデジタル・リマスター版で上映します。ベルイマンの世界に浸る至福をどうぞ心ゆくまでご堪能ください。

前期 Ⅱ 北欧では、短い夏は“生命”の象徴。やがては悩みの種に変わってしまうかもしれないが、若きベルイマンにとっては恋こそすべて。降り注ぐ陽光のもと、恋に焦がれ、恋と戯れる男女の恋愛模様を瑞々しく描く。

夏の遊び

1951年／スウェーデン／スタンダード／90分
出演：マイ・ブリット・ニルソン、ビルイェル・マルムステーン
脚本：イングマール・ベルイマン
ヘルヴェット・グリュヴェニウス
撮影：ダンナル・フィッシュェル
© 1951 AB Svensk Filmindustri



ゴダールが、最も美しい映画と絶賛した初期の傑作。ベルイマンが学生時代に書いた小説『マリ―』を自身で脚本、あるブリマ・バリーナへの過去の苦い恋を描く。後の『野いちご』を想わせるフラッシュバックを使用。初めてすべてを自分のものとして作ることが出来たという、ベルイマンお気に入りの入りの作品である。

7/21(土) 12:40 Ⅱ 7/27(金) 17:20 Ⅱ 7/31(火) 19:40 Ⅱ 8/2(木) 12:40 8/5(日) 19:40 Ⅱ 8/12(日) 14:40 Ⅱ 8/14(火) 17:00 Ⅱ 8/17(金) 10:00

夏の夜は三たび微笑む

◆第9回カンヌ国際映画祭 詩的ユーモア賞
1955年／スウェーデン／スタンダード／104分
出演：ダンナル・ビョルンストランド、ウーラ・ヤコブソン
撮影：グンナル・フィッシュェル
© 1955 AB Svensk Filmindustri



舞台は20世紀初頭。北欧の白夜の中で展開される軽妙なタッチのコスチューム・ブレイ。ベルイマンには珍しいエロティックな喜劇だが、緻密な構成、見事な構図、充実した俳優の演技など、その完成度は高く評価され、ベルイマンが世界に出ていきさげとなった。

7/22(日) 19:40 Ⅱ 7/25(水) 15:00 Ⅱ 7/30(月) 15:00 Ⅱ 8/2(木) 19:40 8/9(木) 12:40 Ⅱ 8/14(火) 14:40 Ⅱ 8/16(木) 17:00

中期 I Ⅱ 国際的な名声と評価を獲得し、撮りたい映画が撮れるようになった。神と宗教、現実と幻想、良心と狂気、記憶と夢…といったモチーフが縦横無尽に展開され、ベルイマン節が炸裂する充実期の傑作4本。

第七の封印

◆第10回カンヌ国際映画祭 審査員特別賞
1957年／スウェーデン／スタンダード／97分
出演：マックス・フォン・シドー
グンナル・ビョルンストランド
撮影：グンナル・フィッシュェル
© 1957 AB SVENSK FILMINDUSTRI



ベルイマンの熱狂的ファンであるウディ・アレンは「最も好きで、最も影響を受けた映画」と語る。舞台はペストが蔓延し世界の終末に怯える中世ヨーロッパ。十字軍遠征からの帰途にいた騎士が、死神に自らの命を賭けたチェスの勝負を挑む。ベルイマンの名を一躍世界に広めた、人生の意味を探る哲学的寓話。

7/24(火) 17:20 Ⅱ 7/25(水) 12:40 Ⅱ 7/27(金) 19:40 Ⅱ 7/28(土) 12:40 8/9(木) 15:00 Ⅱ 8/14(火) 10:00 Ⅱ 8/15(水) 17:00

魔術師

◆第20回ヴェネツィア国際映画祭 審査員特別賞
1958年／スウェーデン／スタンダード／99分
出演：マックス・フォン・シドー、イングリッド・チューリン
ベンクト・エーケロート
撮影：グンナル・フィッシュェル
© 1958 AB SVENSK FILMINDUSTRI



怪奇現象、超能力、交霊術…といったオカルトの要素に科学と呪術、芸術と権力などの二項対立をこった煮で凝縮し、愉快なエンタテインメントへと昇華した初期の到達点。旅廻りのマジシャンの一座と、彼らの見世物のトリックを見破ろうとする役人たちの一夜のいちごっこを描く。ベルイマンが問う、芸術家とショー・ビジネスの正体。

7/21(土) 17:20 Ⅱ 7/24(火) 19:40 Ⅱ 7/29(日) 12:40 Ⅱ 8/2(木) 15:00 8/8(水) 19:40 Ⅱ 8/9(木) 17:20 Ⅱ 8/13(月) 17:00 Ⅱ 8/14(火) 12:20

処女の泉

◆第33回アカデミー賞外国語映画賞
◆第17回ゴールデングローブ賞外国語映画賞
◆1961年度キネマ旬報 外国語映画ベスト・テン第1位
1960年／スウェーデン／スタンダード／89分
出演：マックス・フォン・シドー、ビルギッタ・ヴァルベルイ
脚本：ウッラー・イーサクソン 撮影：スヴェン・ニクヴィスト
© 1960 AB Svensk Filmindustri



数々の国際的な賞に輝くベルイマンの代表作。可憐な少女を襲う悲劇と父親の痛烈な復讐を、名カメラマンニクヴィストによる北欧の清らかな光と影のコントラストを活かした撮影で描く。黒澤明を敬愛するベルイマンが『羅生門』に深い感銘を受け、その強い影響で誕生した映画として知られ日本で愛され続ける名品。

7/23(月) 12:40 Ⅱ 7/26(火) 17:20 Ⅱ 7/29(日) 15:00 Ⅱ 8/2(木) 17:20 8/8(水) 15:00 Ⅱ 8/9(木) 19:40 Ⅱ 8/11(土) 10:00

中期 II Ⅱ 『鏡の中にある如く』から始まる〈神の沈黙〉3部作で、現代人の病めるこころの奥底を凝視したかと思えば、続く『仮面／ペルソナ』では芸術と狂気のギリギリの境界線にまで侵入する。前人未踏の領域へと深化してゆくベルイマンの世界。

鏡の中にある如く

◆第34回アカデミー賞 外国語映画賞
1961年／スウェーデン／スタンダード／89分
出演：グンナル・ビョルンストランド、マックス・フォン・シドー
ハリエット・アンデルソン、ラルス・ハッスガルド
撮影：スヴェン・ニクヴィスト
© 1961 AB SVENSK FILMINDUSTRI



夏、孤島にやってきた4人の家族。狂気へと走ってゆく娘に対し親として何もできず、むしろ作家としてその姿を冷徹に記録したいと思ってしまう父。愛をささやきながら、沈黙するほかない夫。無邪気な弟は、唯一の心の拠り所だったが…。神の前提なしでいかに愛を証明するか、その途方もない模索が始まった。

7/23(月) 15:00 Ⅱ 7/26(木) 19:40 Ⅱ 7/29(日) 17:20 Ⅱ 8/1(水) 12:40 8/6(月) 15:00 Ⅱ 8/10(金) 12:40 Ⅱ 8/11(土) 12:20 Ⅱ 8/15(火) 12:20

沈黙

1963年／スウェーデン／スタンダード／96分
出演：イングリッド・チューリン、グンネル・リンドブロム
撮影：スヴェン・ニクヴィスト
音楽：J・S・バッハ
© 1963 AB SVENSK FILMINDUSTRI



言葉が全く通じない国に来てしまった翻訳家の姉と奔放な妹、そして妹のひとり息子。しかもお互い唯一の話し相手であるはずのその姉妹は、嫌いあっている。この絶望的な状況。完結編に至り、ようやく“神の沈黙”が意味するものがおぼろげに見えてくる…。静寂の中、かすかに聞こえるささやき。センセーショナルな描写が各国で物議を醸し、映画史上、最も多の分析・批評がなされたと言われる問題作。

7/23(月) 19:40 Ⅱ 7/29(日) 19:40 Ⅱ 8/1(水) 15:00 Ⅱ 8/3(金) 12:40 8/6(月) 17:20 Ⅱ 8/10(金) 19:40 Ⅱ 8/15(水) 14:40 Ⅱ 8/16(木) 12:20

冬の光

◆1963年度OCIC国際トリック映画局グランプリ
◆第8回ウィーン宗教映画週間 最優秀外国映画賞
1963年／スウェーデン／スタンダード／82分
出演：グンナル・ビョルンストランド、マックス・フォン・シドー
撮影：スヴェン・ニクヴィスト
© 1963 AB Svensk Filmindustri



『鏡の中にある如く』『沈黙』とともに“神の沈黙”三部作。主人公の牧師の苦悩を通して、「神の不在」を宣言し、描き出す。信者の男が終末への恐怖から自殺するが、牧師はただ祈ることしかできない。神は何故沈黙したまなのか？ これを最高傑作とする声も多い、自伝的要素が色濃く反映したベルイマン入魂の作品。

7/23(月) 17:20 Ⅱ 7/26(木) 15:00 Ⅱ 7/27(金) 12:40 Ⅱ 7/30(月) 17:20 8/3(金) 15:00 Ⅱ 8/6(月) 12:40 Ⅱ 8/8(火) 17:20 Ⅱ 8/12(日) 17:00

仮面／ペルソナ

◆第2回全米批評家協会賞 作品賞・監督賞
主演女優賞
1966年／スウェーデン／スタンダード／82分
出演：ビビ・アンデション、リヴ・ウルマン
撮影：スヴェン・ニクヴィスト
© 1966 AB Svensk Filmindustri



失語症に陥ったスター女優と、彼女を看病することになった看護婦。海辺の別荘でふたりだけで生活していくうちに、お互い自意識の“仮面”が剥がされ、溶け合い、交錯していく…。『映画』と名付けられる予定だった本作は、ベルイマンによる映画論だ。終生にわたるパートナーとなったリヴ・ウルマンは、本作で出会い、以降共に傑作を生みだしてゆくことになる。

7/21(土) 19:40 Ⅱ 7/25(水) 17:20 Ⅱ 7/30(月) 12:40 Ⅱ 8/3(金) 17:20 8/5(日) 15:00 Ⅱ 8/6(月) 19:40 Ⅱ 8/11(土) 17:00 Ⅱ 8/16(木) 14:40

後期 Ⅱ いくら祈っても誰も救ってくれず、見つめあっているのに分かりえない悲しい世界にあっても、ベルイマンは高らかにこう宣言する。今日を楽しめ――。『女たちの世界は私の宇宙』と語るベルイマンが老いてようやく描けるようになった、3つの女性たちの物語。

叫びとささやき

◆第46回アカデミー賞 撮影賞
◆1972年全米批評家協会賞 脚本賞・撮影賞
◆1973年キネマ旬報 外国映画ベスト・テン第二位
1973年／スウェーデン／ビスタ／91分
出演：イングリッド・チューリン、ハリエット・アンデルセン
リヴ・ウルマン、カリ・シルヴァン
撮影：スヴェン・ニクヴィスト 音楽：F・ショパン、J・S・バッハ © 1973 AB SVENSK FILMINDUSTRI



19世紀末のスウェーデンの大邸宅。優雅な生活を送る上流階級の3人姉妹と召使。4人の女性のそれぞれの愛と孤独、生と性の断片を強烈な赤のイメージで挟み出し、まさにベルイマン芸術のエッセンスが花開いた名作。トリュフォーが絶賛し、アメリカでのベルイマンの最大のヒット作となった。

7/24(火) 12:40 Ⅱ 7/25(水) 19:40 Ⅱ 8/1(水) 17:20 Ⅱ 8/3(金) 19:40 8/5(日) 12:40 Ⅱ 8/10(金) 15:00 Ⅱ 8/11(土) 14:40 Ⅱ 8/16(火) 10:00

ファニーとアレクサンデル

◆第56回アカデミー賞 外国語映画賞・撮影賞・美術賞・衣装デザイン賞
◆第41回ゴールデングローブ賞 外国語映画賞受賞 ◆第40回ヴェネツィア国際映画祭 国際批評家連盟賞
◆第49回ニューヨーク批評家協会賞 外国語映画賞・監督賞
◆第9回ロサンゼルス批評家協会賞 外国語映画賞・撮影賞 ◆第9回セザール賞 外国語映画賞
1982年／スウェーデン＝フランス＝西ドイツ／ビスタ／311分
出演：ベルニラ・アルヴィーセン、パツィエリ・ギューヴェ、アラン・エドヴァル、エヴァ・フレリンド、グン・ヴォールグレン
撮影：スヴェン・ニクヴィスト © 1982 AB Svensk Filmindustri, Svenska Filmintitutet, All Rights Reserved.



劇場を経営する一族の2年間で、二人の幼い孫の視点を通して豪華絢爛に描き、ベルイマンをして「映画作りの面白さを味わい尽くした」と言わしめ、世界中で大ヒットを記録した集大成たる超大作。受難の旅を経た彼らの無垢な祈りは、生きとし生けるものすべての悲しみを包み込み、生の喜びに満ち溢れたこの上ない幸福なステージへと私たちを導くだろう。

7/22(日) 12:40 Ⅱ 7/26(火) 15:00 Ⅱ 7/31(火) 12:40 Ⅱ 8/4(土) 12:40 8/7(火) 15:00 Ⅱ 8/13(月) 10:00 Ⅱ 8/17(金) 12:20

Comments

ベルイマンを知らないあなたもベルイマンを知っている

町山智浩 (映画評論家)

あなたはもしかすると、イングマール・ベルイマンの映画はいちども観たことがないかもしれませんが、でも、あなたが映画ファンなら、知らないうちにベルイマンの影をずっと見てきたはずです。誰もが知っているあの映画この映画が、ベルイマンから生まれたものだからです。

たとえば、デヴィッド・フィンチャーの『ファイト・クラブ』。ブラッド・ピットがカメラに向かって消費社会への怒りを吐き出すと、あまりの怒りでフィルムが映写機のスプロケットから外れるという衝撃的なシーンがあります。あれは、ベルイマンの『仮面／ペルソナ』という映画で、ヒロインの怒りでフィルムが映写機に引っかかって炎上するシーンに影響されています。さらに『ファイト・クラブ』ではエンディングにペニスの写真が1コマだけ、サブリミナルのように挿入されていますが、同じことをベルイマンは『仮面／ペルソナ』の冒頭でやっているのです。その他、ドゥニ・ヴィルヌーヴの『複製された男』、スビルバーグの『ポルターガイスト』、デヴィッド・リンチの『マルホランド・ドライブ』などに、ベルイマンの『仮面／ペルソナ』を模倣したシーンがあります。

マーク・ウェブの『(500)日のサマー』、ジョン・マクティアナンの『ラスト・アクション・ヒーロー』、リンチの『ロスト・バイウェイ』が、ベルイマンの『第七の封印』で主人公が死神と出会う場面を引用しています。

ウィリアム・フリードキン『エクソシスト』は、悪魔に取りつかれた少女の服装、部屋、十字架を股間に突き刺すシーンが、ベルイマンの『叫びとささやき』を元にしています。ミ夏エル・ハネケの『ピアニスト』、ラース・フォン・トリアーの『アンチ・クライスト』にも、『叫びとささやき』の影響をはっきり観ることができます。

アレハンドロ・G・イニャリトゥの『バードマン あるいは(無知がもたらす予期せぬ奇跡)』、ティム・バートの『ビッグ・フィッシュ』は、ベルイマンの『野いちご』なしにはありませんでした。ウェス・クレイブンの『鮮血の美学』は、ベルイマンの『処女の泉』のスプラッター版として作られました。アンドレイ・タルコフスキー、ウディ・アレン、ロバート・アルトマン、ブライアン・デ・パルマ、ジャン＝リュック・ゴダール、フランソワ・トリュフォー、フェデリコ・フェリーニ、スタンリー・キューブリック……、みんなベルイマンに倣った映画を作っています。それはベルイマンが古典で基本だからではありません。『仮面／ペルソナ』の炎上するフィルムに代表されるように実験的で型破りでした。いわばロックにとってのビートルズが、世界の映画にとってのベルイマンだといえます。

「ベルイマンのテーマは『神の沈黙』である」と、よく言われます。なにやら難しく偉大な芸術家の大先生のように聞こえますが、そうではないと思います。ベルイマン本人はコンプレックスと欲望に勝てないダメな自分を映画のなかで赤裸々にさらけ出してきた人でした。厳格な牧師の息子に生まれ、母を虐待する父を憎み、それが神への不信になりました。また、子どもの頃から性に対する興味が強く、監督になると、主演女優と次から次に恋愛関係になり、次から次に愛した女性を傷つけ、その彼女たちを映画で共演させ、自分史をそのまふフィルムに収めてきたのです。革命的で、捷破りで、ダメ人間で、正直なベルイマン。その作品は今も新鮮さを失いません。この機会にぜひ、ご覧ください。

ベルイマンの映画にとってもない衝撃を受け、彼のようにになりたいと心底思った。
—— フランシス・フォード・コッポラ

あなたの映画は常に、私の心を揺さぶった。
作品の世界観を作り上げる巧みさ、鋭い演出、安易な結末の回避、そして人間の本性に迫る完璧な人物描写において、あなたは誰よりも卓越している。
—— スタンリー・キューブリック

ベルイマンは、ジャン＝リュック・ゴダールやアンディ・ウォーホルのように、新しい映画の定義を作り出した。
—— マーティン・スコセツシ

ベルイマンの作品は一つ残らずすべて観た。
電話で話したこともないし、何通手紙を書いても返事ももらえなかった。話したいことがたくさんあったのに、それが叶わず悩んだよ。自分なりに理解して、諦めたんだ。
ベルイマンなんてクソくらえだ！僕にも自分の人生がある。連絡したくないなら、こっちも忘れようと思った。
……でも彼を敬愛している。悔しいが、僕にとって彼は全てだ。
—— ラース・フォン・トリアー

僕は18歳だった。初めてベルイマンの映画を観た。あの目のことは忘れない。まるで啓示を受けた気がしたんだ。どれほど衝撃的だったが、きつとわかってもらえないだろう。まるでベルイマンに童貞を奪われたような気分だった。
—— アン・リー

ベルイマンの映画は、すべてにおいて完璧だった。
—— リドリー・スコット

恐ろしいまでに圧倒される演技、息を飲む撮影技術。
痛み、病、悲しみ、そして孤独の描写のなんと繊細さ！
—— グザヴィエ・ドラン